

令和 6年度（5年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和06年05月20日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	129	男女共同参画啓発事業							
	この事務事業 の位置		政策	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち								
			施策	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう								
			基本事業	男女共同参画								
	主管課名		協働推進課			課長名	瀧元 信吾					
	この事務事業の開始時期		平成6(1994)年度		事務区分	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務						
	この事務事業の根拠法令		みよし男女共同参画推進計画									
	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由							
	男女共同参画社会の実現に向け、みよし男女共同参画プランパートナーに基づく事業を推進し、男女共同参画社会に向けた啓発を行う。 男女共同参画社会の実現と住み良い地域づくりのために活動する団体を支援し、団体の育成と活性化を図る。 「SDGsの取り組み：4，5，6，11，16」				少子高齢化が進む社会、国内経済活動の成熟化等、社会情勢の急激な変化に対応していくうえで、性別に関わりなく男女が互いにその人権、個性を尊重しつつ、責任を分かち合い、男女共同参画社会の実現が急務となっている。 本市においても、みよし男女共同参画プラン『パートナー』2024-2033に基づき、教育・福祉・保健など幅広い分野にわたり、新しい時代に対応した男女共同参画社会を築く必要がある。							
	R5年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			性別に関わりなく男女が、互いにその人権を尊重しつつ責任を分かち合い、その個性と能力を発揮することができる男女共同参画社会の実現を目指し、男女共同参画川柳・標語の募集や頑張る女性向けのセミナー等を開催した。また、性の多様性に関する理解促進を図るため、市民向け・高校生向けLGBT基礎講座や職員研修を開催した。								
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	平成27(2015)年9月の国連サミットにおいて採択されたSDGsにおける17項目の目標の一つとして、ジェンダーの平等の達成が位置づけされた国際社会共通の目標となっている。				名称 ① 事業数 ②							
					単位 件							
対象(この事業の対象、範囲となる人、物) 市民					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
					名称 ① 人口 ②							
					単位 人							
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか) 男女共同参画社会推進の必要性を理解する 性別役割分担意識を払拭する					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
					名称 ① 男女共同参画セミナー参加者数 ② 男女共同参画川柳・標語応募者数							
					単位 人							
結果(上位基本事業の意図) 男女共同参画社会推進の必要性を理解する					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
					名称 ① 男女共同参画交流ネット登録団体数 ②							
					単位 団体							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
(1)の 活動指標		① 件	7	7	7	7	7	7	7			
		②										
(2)の 対象指標		① 人	61,375	61,656	61,380	61,938	62,219	62,500	62,800			
		②										
(3)の 成果指標		① 人	32	60	318	320	320	320	320			
		② 人	408	575	414	0	0	0	0			
(4)の結果の 成果指標		① 団体	5	6	6	6	6	6	6			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	02	項	01	目	17
コスト		年度	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	2,457	3,845	2,600	838	838	838	992			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	13	42	7	42	42	42	42			
	一般財源	千円	2,444	3,803	2,593	796	796	796	950			
人件費B		千円	7,198.4	6,846.4	7,638.4	7,638.4	7,638.4	7,638.4	7,638.4			
正職員従事時間×人数		時間×人	409×5	389×5	434×5	434×5	434×5	434×5	434×5			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用C		千円	658	658	208	208	208	208	208			
トータルコストA+B+C		千円	10,313.4	11,349.4	10,446.4	8,684.4	8,684.4	8,684.4	8,838.4			
単位あたりコスト		① 千円/人	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1			
(トータルコスト/(2)の対象指標)		② 千円/	0	0	0	0	0	0	0			

様式1-2

事務事業名		No.	129	男女共同参画啓発事業		
2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	☒ 得られている ☐ 得られていない		理 由	各事業ごとに対象者を決定し、年代や性別に応じた男女共同参画啓発事業を実施できているため	
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない		その理由	男女や年齢に関わらず、市民全体に対して男女共同参画意識の啓発を行っているため	
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	☒ ある ☐ ない		その理由	社会情勢の変化により、女性の活躍推進が求められているため、男女共同参画啓発事業の中で女性の活躍推進に関する事業実施を検討する必要がある。	
	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内 容		事業実施時に男女共同参画プラン「パートナー」のダイジェスト版を配布し、男女共同参画意識の啓発を推進する。		
	目的達成状況	内 容		計画どおり達成した		
	市関与の必要性（実施手法）	内 容		☐ 民間への一部委託 ☐ 民間への全部委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金・負担金助成 ☐ 市の直営 市民活動団体等のイベントなど、市主催以外のイベント時において男女共同参画に関する啓発を行ってもらう。		
効 率 性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内 容		企業への男女共同参画意識の啓発など、他のイベント時に男女共同参画啓発を実施することで、普段と違う対象者に対する効果的な啓発を行うことができるが、他事業の趣旨が薄れてしまう可能性がある。		
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はないか？）	内 容		男女共同参画交流ネット登録団体に事業の協力を依頼することで人件費等の軽減することができるが、登録団体との調整や謝礼費等、別に事業費が発生する可能性がある。		
公 平 性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	☐ ある ☒ 現状で適正 ☒ ない ☐ 検討が必要 ☐ 受益者がいない		内 容	市民に広く男女共同参画意識を啓発するために、受益者負担を求めないことが適正であるため	
3 改 革 改 善 案 A C T I O N	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意 見	男女共同参画に対する住民意識がなかなか成熟していかない。		対応策	地域における男女共同参画の基盤づくりをするため、地域団体の活動支援並びに意識啓発を引き続き行う。
	R6年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	男女共同参画に関するセミナー、LGBT基礎講座の開催や男女共同参画川柳・標語の募集を実施した。		変 更 追 加	男女共同参画に関するセミナー、LGBT基礎講座は継続して実施し、男女共同参画川柳・標語の募集を中止する。
	今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案		
	☐ 拡大 ☐ 改善 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☐ 完了 ☐ 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 ステップアップセミナー、市民向け・高校生向けLGBT基礎講座、職員研修、男女共同参画交流ネット登録制度を通じての啓発等、系統的なプログラムを立案して、男女共同参画推進の人材を育てていく。令和5(2023)年度に改定した男女共同参画プランにより、今後も男女共同参画の推進に努めていく。		
コストの方向性			→ 維持			
成果の方向性			→ 維持			